



# 平成 29 年度 水稻生育診断情報 No.1

(平成 29 年 6 月 6 日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(今回は 6/27 頃の予定)

## 現在の生育状況

◎概ね平年並からやや早く、特に移植の早いほ場では、生育が旺盛となっている。

## 管理のポイント

◎分けつが多く、すでに中干し適期を迎えているほ場も見られる。目標穂数の 8 割の茎数が確保できたほ場では、速やかに溝切り・中干しを実施する！

◎還元障害を起こしているほ場では、軽く干す水管理を行う。

☆=「みずかがみ」栽培だより=(P5~)もご覧ください。

## 1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去 10 年間の平均)

要素 期間	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
4 月 下旬	平年並	平年並	かなり多い	少ない
5 月	やや高い	やや高い	平年並	やや少ない
	かなり高い	高い	平年並	やや少ない
	かなり高い	高い	多い	かなり少ない

(2) 地温、土壌窒素の推移

■日平均地温は、5 月中旬以降高低の変動はあったものの、平年並であった。

■5 月 30 日時点の土壌中アンモニア態窒素量は、平年並 (無窒素区で 1.1mgN/100g) であった。

(3) 近畿地方 1 か月予報【大阪管区気象台 6 月 1 日発表 ([http://www.jma.go.jp/longfcst/106\\_00.html](http://www.jma.go.jp/longfcst/106_00.html))】

■向こう 1 か月は平年に比べ曇りや雨の日が多い。

■降水量は、平年並または多い確率ともに 40%。

■日照時間は、平年並または少ない確率ともに 40%。

■週別の気温は、1 週目は、平年並または低い確率ともに 40%。

2~4 週目は、平年並または高い確率ともに 40%。

## 2 生育状況【農業技術振興センター 水稻作況調査による。表 1 および後掲グラフ参照。】

(1) 移植期 (4 月 20 日播種、5 月 10 日移植)

■移植時の苗丈は平年より短く、乾物重の大きい苗であった。

■移植時の葉数は「コシヒカリ」が 0.3 枚、「秋の詩」が 0.4 枚多かった。

## (2) 生育初期 (5月31日時点)

- 移植後は気温が高く経過したことから、活着は良好であった。
- 草丈は、両品種ともに平年並であった。
- 茎数は、両品種ともに平年よりかなり多かった (平年の約 1.3 倍)。
- 葉数は、「コシヒカリ」が 0.5 枚、「秋の詩」平年より 0.7 枚多かった。



5月31日時点の「コシヒカリ」  
茎数 273 本/㎡(12.3 本/株)



5月31日時点の「秋の詩」  
茎数 243 本/㎡(11.0 本/株)

表1 平成29年(2017年) 水稲作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/㎡)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
5/31	コシヒカリ	24.5	24.3	101	25.6	273	208	131	290	5.9	5.4	0.5	6.0
	秋の詩	21.3	21.2	100	20.2	243	185	131	271	5.9	5.2	0.7	5.8

移植日: 5月10日(播種日: 4月20日)、栽植密度: 22.2 株/㎡、植付本数: 4 本/株

## 3 今後の管理

### (1) 水管理 (溝切り・中干し)

- 県内の状況は、移植の早いほ場では生育はやや旺盛となっているものの、全般には平年並となっている。目標穂数の8割の茎数が確保できれば、遅れずに溝切り・中干しを行う。
- 中干しの際は、強制落水は行わず、自然減水とする。
- 還元障害を起こしていると思われるほ場では、軽く干して、根の生育を助ける水管理に努める。

#### 中干し開始の茎数と時期の目安

##### 【茎数】

栽植密度 (株/坪)	1株あたり 茎数(注)
70株	14~15本
60株	17~18本
50株	20~21本

(注) 目標穂数380~400本/㎡とした場合に、その8割の茎数(300~320本/㎡)に相当する1株あたりの茎数。

##### 【時期】

移植時期	平年の場合の 目安
5月上旬	6月5日頃
5月中旬	6月10日頃
5月下旬	6月20日頃

### 溝切りの目的

- ①中干しの効果を高める。
- ②中干し後の水管理を行いやすくする。
- ③収穫期に短時間で落水しやすくする。



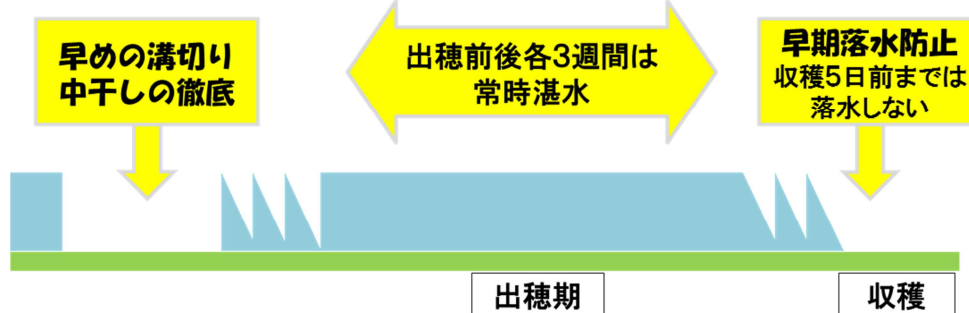
### 中干しの目的

- ①無効分げつを抑制し、過繁茂を防ぐ。
- ②土壌中に酸素を供給し、根の伸張を促す。
- ③田面を硬くすることで、収穫直前まで入水できるようにする。



茎数 15 本/株

これが中干し開始時期の株張り程度（坪 70 株植）



※環境保全型農業直接支払交付金制度で「長期中干し」技術を選択される場合は、原則10aに1本以上の溝切りを行い、14日以上の中干しを実施してください。

## (2) 追肥

### ①速効性肥料の基肥＋追肥体系の場合

- 毎年茎数が過剰となるほ場では、施用量を減らす。
- 本年は幼穂形成期が早まることも予想されるため、遅れないよう注意する。
- 中山間地帯や地力の劣る生育不良田では、この時期より3～4日早めに施用する。
- 追肥施用に際しては浅水で行い、施用後少なくとも5日間は田面水を流さず、水田からの窒素やリン酸の流出を抑える。

### 平年の追肥施用時期（5月中旬までの移植）

品種	追肥施用時期
極早生・早生品種	6月10日頃
中生・晩生品種	6月20～30日

注) 「みずかがみ」では、6月上旬の追肥は施用せず穂肥で対応する。

## ②側条施肥田植および緩効性肥料栽培の場合

■側条施肥田植および緩効性肥料栽培で、基肥に追肥分を含めて施用している場合は、茎数が少なくても追肥の必要はない。

## (3) 病虫害防除

6月6日発表の「病虫害発生予報第4号」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/yoho/yoho29/files/yoho04.html>) を参照

### 葉いもち（6月6日発表の「病虫害発生予報第4号」より引用）

発生時期：平年並、発生量：平年並

- ①余剰苗は直ちに除去する。
- ②移植栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を育苗箱に施用、または移植時に側条施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- ③直は栽培では、いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、は種同時施薬機を用いて土中施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。
- ④発生を認めたら直ちに薬剤を散布する。特に、多肥田や晩植田、「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」・「秋の詩」・「滋賀羽二重糯」では注意する。ただし、耐性菌を生じやすいので、穂いもちの防除も考慮して同一グループ薬剤の連用を避ける。

#### 【参考サイト】

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/>

病虫害防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/>

彦根地方气象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

異常天候早期警戒情報 <http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>



< 5月上旬移植の場合 >

**中干し開始時期を迎えている！**  
**茎数を確認して、速やかに溝切り・中干しを実施する！**

☆ 今後の栽培管理対策

(1) 中干し

■ 目標穂数の8割 (60株植：16本/株、70株植：14本/株) に達したら、速やかに溝切り・中干しを実施する。

(2) 穂肥

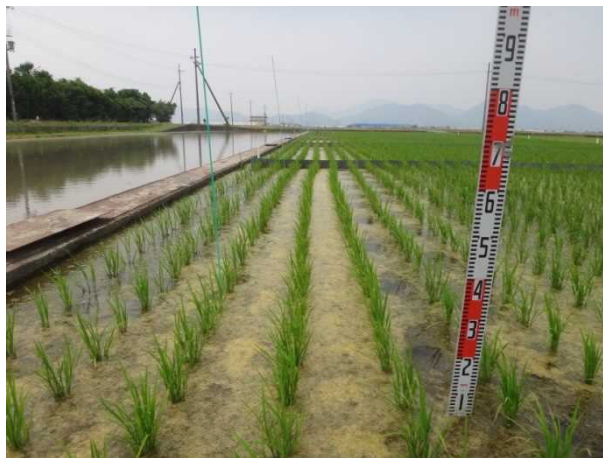
■ 5月上旬移植の場合、例年6月25日頃に幼穂形成期を迎えるため、分施の場合は遅れず穂肥を施用する。詳細は6月中旬発信予定の「みずかがみ」穂肥情報を参照。

○ 生育状況 (5月31日時点)

「みずかがみ」の生育調査結果(近江八幡市安土町大中)

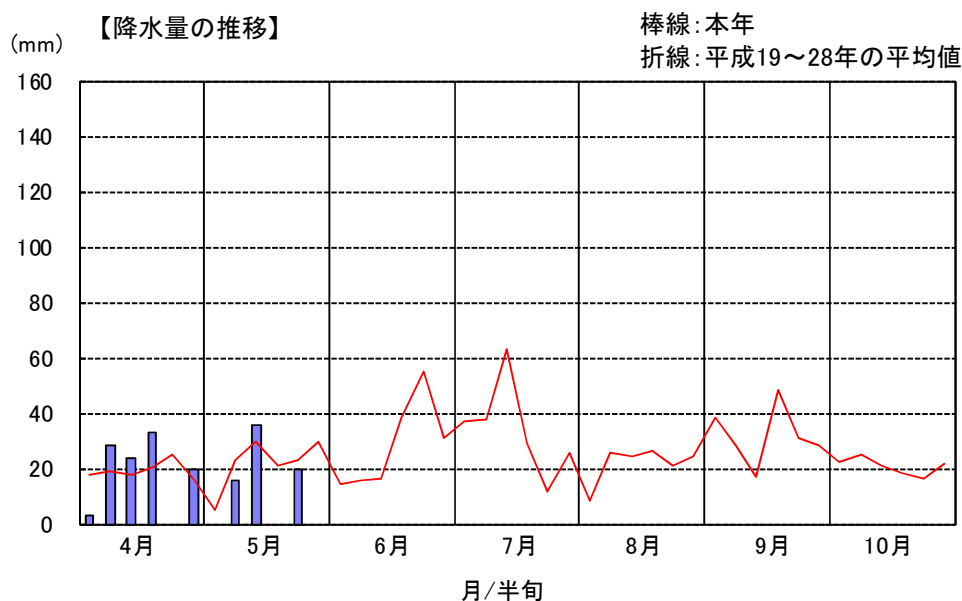
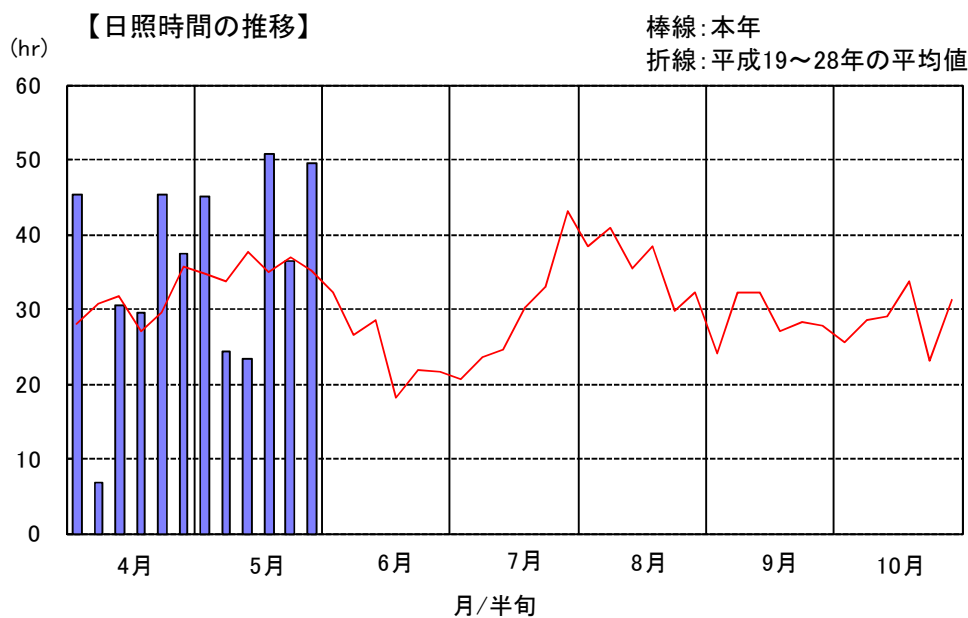
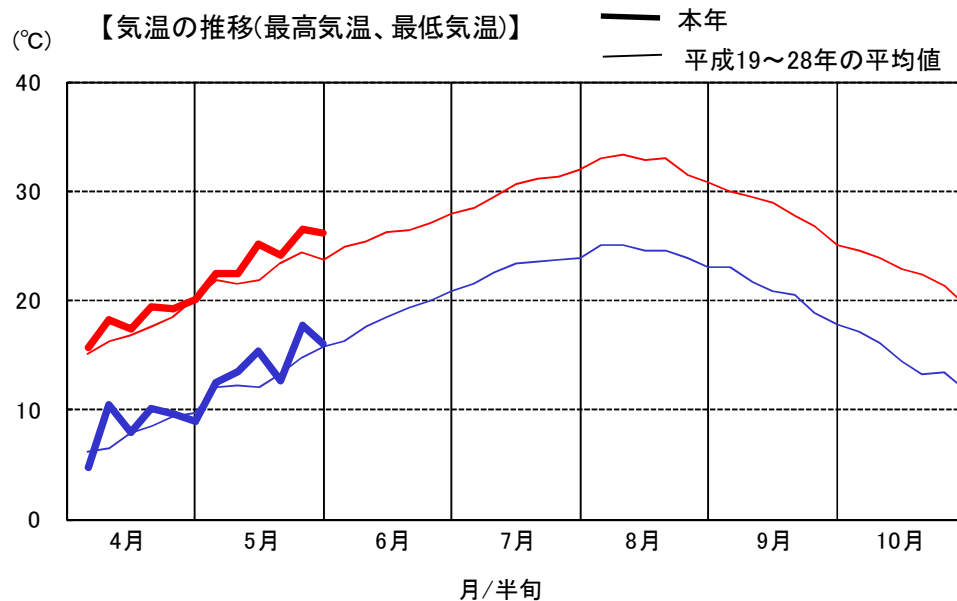
移植日	平成29年(5/31調査)				平成28年(5/31調査)			
	草丈 (cm)	茎数		葉数 (枚)	草丈 (cm)	茎数		葉数 (枚)
		(本/m <sup>2</sup> )	(本/株)			(本/m <sup>2</sup> )	(本/株)	
5月2日	24.5	268	14.7	7.0	28.6	297	16.0	7.2

1) 栽植密度: 18.2株/m<sup>2</sup>(60株/坪)、施肥量: 全量基肥7kgN/10a。



5月2日移植  
 (茎数約15本/株 中干し間近の「みずかがみ」の様子)

# 平成29年(2017年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

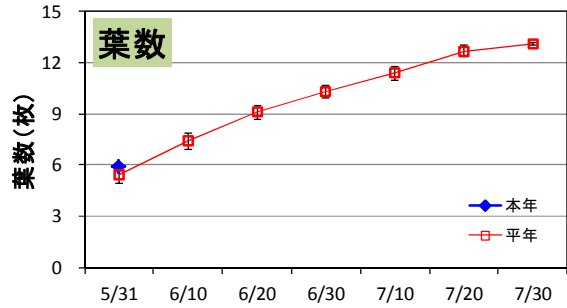
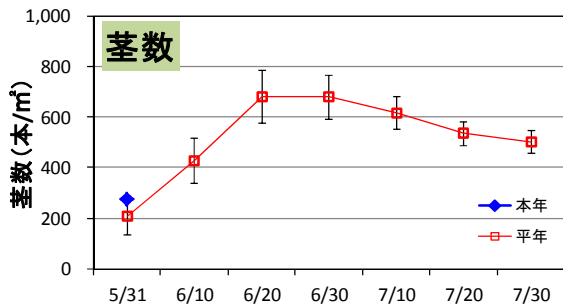
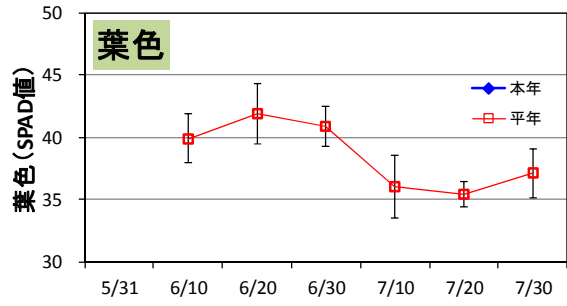
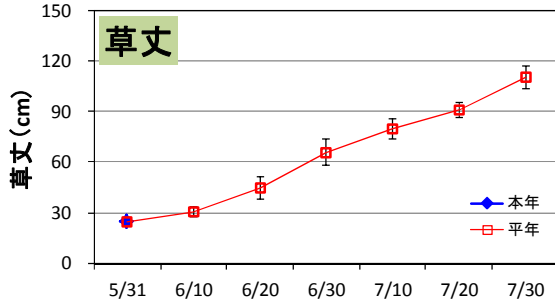


注) 平年は平成19~28年の平均値。 5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値。

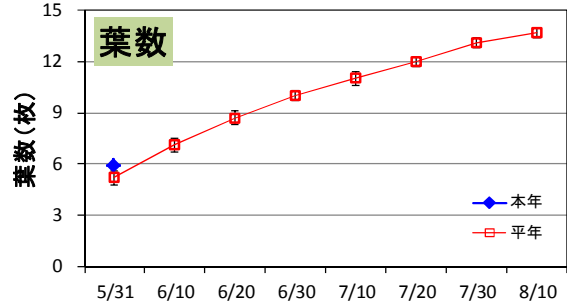
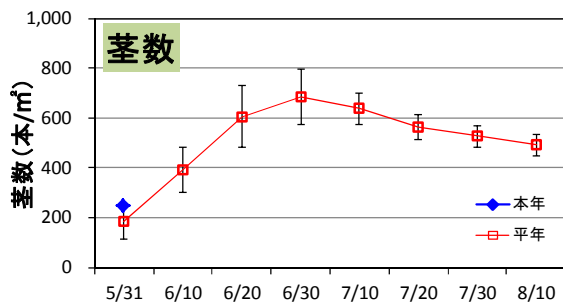
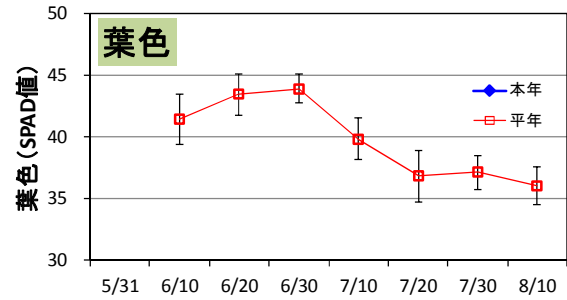
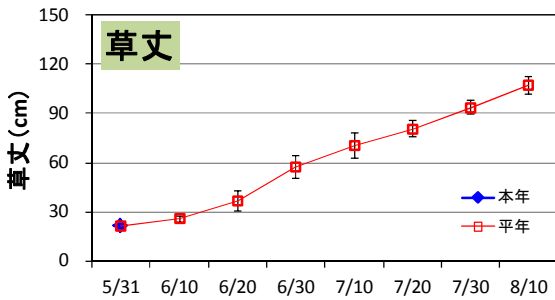
# 平成29年(2017年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)  
 移植: 5月10日(播種: 4月20日)  
 栽植密度: 22.2株/m<sup>2</sup>、植付本数: 4本/株

## 「コシヒカリ」



## 「秋の詩」



注) 生育調査の平年は平成19~28年(10年間)の平均値。平年値のエラーバーは標準偏差。